

AXEL Lesson 01

A

Translation 全文訳

- 1 あなたは今までにトイレをそうじしたことがありますか？ あるボランティアグループは、公園のような公共の場所のトイレをそうじしています。この活動はどのようにして始まったのでしょうか？
- 2 ある会社の社長が、どうしたらいいのかわからずにいました。社長は社員全員に、仕事で全力を尽くしてほしいと思っていました。しかし、社員の中には疲れたようすで、態度がよくない人たちもいたのです。ある日彼は、会社のトイレが汚れているのに気づきました。彼はトイレをそうじすることにしました。「社員たちが喜んでくれるだろう」と考えたのです。
- 3 数か月後、何人かの社員が彼を手伝うためにはるかに早く出社し始めました。まもなくより多くの社員が加わりました。そしてついに、社員全員と一緒に働くようになったのです。
- 4 その男性は公共の場所のトイレ清掃も始めました。だんだん多くの人々がこのボランティア活動始めるようになりました。
- 5 そのボランティアグループがある中学校に招かれました。そこではトイレが汚れていました。そのうちのいくつかは壊れていました。その男性は「トイレそうじをすることが、この学校を楽しい場所にするのに大切なのです」と言いました。教師も生徒も一生懸命に取り組みました。1年後、学校はとてもきれいになり、生徒たちはお互いに対して親切になりました。再びトイレが壊れることはありませんでした。
- 6 ただトイレをそうじすることで、なぜ人々は変われるのでしょうか？ それをすることは人々の気持ちを前向きにします。ある女性はこう言いました。「私はトイレと自分の心とを同時に磨いています。この活動をやってみてください。1か月後には、あなたの中の何かがきっと変わっていますよ」と。

Lesson 01 【解答】

A

- 1 a. ○ b. × c. ○
- 2 公共の場所のトイレをそうじするボランティア活動
- 3 社長は、自分の会社のトイレをそうじすることに決めた。
- 4 (You should clean toilets) if you want to make this school a happy place.
- 5 cleaning toilets
- 6 1か月後には、あなたの中の何かが変わっていると私は確信している。

B

- (1) is knocking (2) smell (3) is dying (4) are (5) will come

C-1

- (1) 私はいつ兄 [弟] が戻ってくるか知らない。
- (2) あなたのご両親が到着したらすぐに、私たちはパーティーを始めましょう。
- (3) 明日の今ごろ、私は舞台の上でピアノを弾いているでしょう。

C-2

(解答例)

- (1) Henry has just finished [done] his homework.
- (2) I have visited London twice.

A

Translation 全文訳

- 1 オーストラリアにバンダヌーンと呼ばれる町がある。人口は 2,000 人ほどだ。この町では、人々が環境を守るためにあることをしている。2009 年から、ペットボトル入りの水を売ることをやめているのだ。誰かが彼らにそうするよう命じたのではない。彼らは、ペットボトルがいかに環境に影響を与えるか学んだ。その結果、自分たちで、もうペットボトル入りの水を利用しないことを決断したのだ。
- 2 ペットボトルは、環境によくない。それにはいくつかの理由がある。第 1 に、ペットボトルを作るのに石油が使われる。石油は限りある天然資源だ。第 2 に、これらのペットボトル入りの水を国から国へ運ぶのに、たくさんのエネルギーが必要になる。また、輸送中に二酸化炭素が空気中に排出される。二酸化炭素は、地球温暖化の原因の 1 つだと言われている。第 3 に、水を飲み終わったあと、ペットボトルはごみになる。同じペットボトルを何度も何度も使うことはできない。もちろんそれをリサイクルすることはできる。しかし、プラスチックを溶かして新しいボトルを作るのに、多くのエネルギーが使われるのだ。
- 3 バンダヌーンの人々は今、何度もくり返して使うことのできるボトルを選んでいる。彼らは自分のボトルを持ち歩く。町の多くの地域では、給水所で自分たちのボトルを無料の水で満たすことができる。彼らはこのことを 2009 年から続けているのだ。

Lesson 02 【解答】

A

- 1 a. ○ b. × c. × d. ○
- 2 バンダヌーンの人々が、2009 年から、ペットボトルで飲料水を売ることをやめていること。
- 3 b
- 4 a. 石油 b. 二酸化炭素 c. ごみ
- 5 何度もくり返して使うことのできるボトル
- 6 バンダヌーンの人々は、自分のボトルを持ち歩き、町にある給水所で自分たちのボトルを無料の水で満たすことを 2009 年から続けている。

B

- (1) has been reading (2) had known (3) finished (4) has belonged (5) will have climbed

C-1

- (1) Dinner (will have been prepared by the time I get) home.
- (2) (I will have watched the movie four times if I) watch it again.
- (3) (We had been standing for an hour) until our train arrived in Yokohama.

C-2

(解答例)

- (1) Have you ever climbed Mt. Fuji?
- (2) We have lived in this house since 1992.

D

A

Translation 全文訳

- 1 日本では学校は4月に始まる。日本人にとってこのことは当然だが、国際的にみると普通ではない。学年が始まる月は、世界中で同一ではないのである。
- 2 グラフをごらん下さい。半分以上の国々で、学校は9月に始まる。このグループは、ヨーロッパや中央アジア、北アメリカなどの国々を含む。2番目に一般的な学年開始月は1月だ。東アジアや太平洋、サハラ以南のアフリカの多くの国々がこのグループに属する。1月に続いて3番目に一般的な開始月は10月である。このグループのほとんどの国々は、サハラ以南のアフリカに位置する。興味深いことに、11月や12月に開始月を設定している国はない。
- 3 4月はどうか？4月に学年を始める国はわずか2パーセントである。ペルーやインド、パキスタンや日本がこのグループを構成している。このことが理由となって、日本人学生が海外留学することが容易ではないと言われている。同様に、他国の学生にとっても、日本に留学するのは都合がよいわけではない。それをもっと容易にするために、日本のいくつかの大学ではすでに、4月に加えて9月にも学生の入学を認め始めている。日本政府も、開始月を9月に変更することを検討中である。しかし、この案に反対する人々もいる。桜の花のもとで新しい学年を始めるのが日本文化の一部であり、開始月を変更するべきではない、と彼らは述べている。

Lesson 03 【解答】

A

1 a. × b. × c. ○

2 c

3 学年〔学校〕が4月に始まること。

4 1月に続いて3番目に一般的な開始月は10月である。

5 他の国の学生たちが日本に留学することをもっと容易にするために、(日本のいくつかの大学ではすでに、4月に加えて9月にも学生の入学を認め始めている。)

6 桜が咲いている中で新年度を迎えるのは日本文化の一部なので、開始月に変更されるべきでないと考えるから。

B

(1) should have (2) used to (3) can't have (4) must have (5) may well

C-1

(1) You (cannot be too careful when traveling alone).

(2) I (cannot help thinking that your decision was wrong).

(3) I (might as well stay home as go to) the crowded amusement park.

C-2

(解答例)

(1) You will be able to swim soon.

(2) She must be Bobby's sister.